

4 トピック — 高騰しているほうれんそうの価格動向 —

この冬、葉物野菜は、総じて価格が高めに推移しているが、中でもほうれんそうは、12月下旬からその傾向が顕著に表れている。

ほうれんそうは、1月以降、価格が低くなるのが通常であるが、今年は1月中旬に向けて一旦落ち着きを見せたものの、その後再び上昇に転じ、高値を維持している。

これは、千葉産、埼玉産等について、①11月の気温は、平年並みであった前年の気温に比べ高めに推移したこと、②加えて、12月から2月上旬にかけての気温が反対に低めに推移したこと、生育が前進し、12月以降の供給のマイナス要因になったこと、生育が停滞したこと等による。

ほうれんそうは、生育期間が短いこともあり、気温が平年並みの水準に上昇すれば出荷量が増加するが、2月下旬は引き続き低温が予測されているので、3月上旬までは少なめの出荷量となり、高めの価格で推移するものと思われる。

